

カウディピテリクス(尾羽竜)

Caudipteryx zoui Ji, Currie, Norell and Ji, 1998

カウディピテリクスは、中国遼寧省北票で発見された小型の恐竜です。この恐竜が発見された地層は義県層(Yixian Formation)です^{*}。この地層の年代は、最近の年代測定の結果から白亜紀前期と考えられていますが、植物や動物の種類はジュラ紀型の原始的なものが多いとされています。

この恐竜は全長1メートルほどの大きさで、オビラブルの仲間であると考えられています。頭は比較的短く、体の表面に羽毛があり、尾に羽があります。また、上顎の前方にだけ小さな歯があります。お腹の部分にみられる黒い粒は胃石で、消化を助けるはたらきをしていたと考えられています。このような胃石は植物をエサとする鳥にも同様にみられます。このような特徴から、カウディピテリクスは植物を食べていた恐竜であると考えられています。

カウディピテリクスにはカウディピテリクス・ゾウイ(*Caudipteryx zoui*)とカウディピテリクス・ドンギ(*Caudipteryx dongi*)の2種類が知られていますが、両者は、胸骨の大きさなどで区別されています。カウディピテリクスの化石には、はっきりとした羽毛の痕跡が認められ、それまで論争となっていた「羽毛のように見えるもの」の正体が明らかとなりました。この発見によって恐竜にも羽毛を持っているものがいたことが確実となったのです。カウディピテリクスは重心が前方にあり、他の獣脚類と異なっていることから、二次的に飛びこむことをやめた走行性の鳥類ではないかという説もだされました。しかし、その説は最近の研究では疑問視されています。

中国のこの地域の地層からは、細部までよく保存された脊椎動物の化石が数多く発見されています。ここから発見される羽毛を持った恐竜たちは、鳥類の進化の過程を解明する手がかりとして、世界中の注目を集めています。

*記載論文では熱河層群中の義県層の下位にあるChaomidianzi Formationからの産出となっている。



カウディピテリクスの復元画



御船町恐竜博物館情報誌
ダイナソートピックス No.13

■発行日/平成17年3月30日

■編集・発行/御船町恐竜博物館

〒861-3207 熊本県上益城郡御船町大字御船995-3
TEL (096) 282-4051 FAX (096) 282-4157<http://www.mifunemuseum.jp/>
Email/info@mifunemuseum.jp

印刷/株)トライ

Dinosaur Topics

No.13
2005.3.30

企画展 恐竜時代の海 開催

平成16年8月23日から10月11日まで

企画展「恐竜時代の海」が開催され、期間中約1万人が訪れました。

企画から
準備まで…

この企画展は、御船町恐竜博物館がはじめて実施する本格的な企画展でした。恐竜博物館の常設展示は、御船層群をはじめとする地域の地質や恐竜化石を中心としています。そのため、恐竜時代の海洋や海の生物の展示はそれほど多くありません。そこで、今回は特に恐竜時代の海の生物たちに焦点を当てて、生物の進化や地球の環境の変動について紹介したいと考えました。実施することが決定してから、資料を借用することができそうな博物館を訪問し、企画について説明し、標本や企画に関してアドバイスをいただいたりしながら、借用する資料や構成を考えていきました。

展示資料が決まると、正式に借用手続きをおこないました。

そして、ガイドブックやパネルの作成を進めながら、資料の借用と運搬の日程や展示物の配置などを詰めていきました。

展示する資料の中には500キログラムはありそうな大型の標本（実物！）もあり、どのようにして搬入搬出をおこなうか悩みました。しかし、町民の方からボランティアでフォークリフトやユニック車を提供してもらい、役場の若手職員総出の協力で、無事に展示することができました。

いよいよ
開会…

夏休み期間中は多くの家族連れで賑わいました。会場での説明は恐竜博物館後援会の会員や大学生が積極的に取り組んでくれました。化石のクリーニング体験のコーナーも人気がありました。

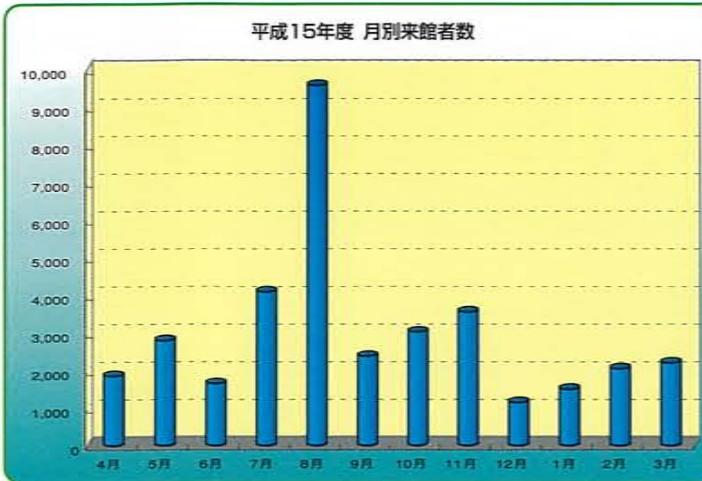
2学期に入ってからは、小中学校の団体見学が多くなりました。町内と周辺の小学校が中心でしたが、遠方では、長崎市の小学生が修学旅行で立ち寄ってくれました。

長崎市から
来ました!

長崎県の錢座小学校の6年生33名が企画展「恐竜時代の海」の見学に訪れました。会場で学芸員の説明を聞いた後、ワークシートにメモをとりながら見学し、魚竜やクビナガリュウ、たくさんのアンモナイトなど、海で生活していた生物の化石に目を輝かせしていました。



最後に、この企画展を開催するにあたり、国立科学博物館をはじめとして、多くの博物館・大学及び個人の方々のご協力をいただきました。ご協力いただいたみなさまにこの誌面を借りて感謝申し上げます。



平成15年度の入館者数

平成15年度は、御船町恐竜博物館開館以来最高の入館者数を記録しました。合計で35000人を超えるました。1年間の開館日数は300日程度ですから、平均すると1日に100人以上の方が博物館を利用したことになります。月別でみると、夏休みの8月が最も多く群を抜いています。



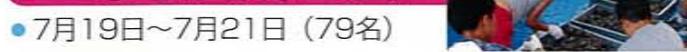
平成16年度の博物館の行事

土曜日だ博物館に行こう！



- 4月17日 三葉虫（4名）
- 5月15日 腕足動物（13名）
- 9月 4日 三角貝（18名）

恐竜化石調査体験



- 7月19日～7月21日（79名）

今年度も「土曜日だ博物館に行こう！」 「博物館セミナー」などを実施しました。

博物館セミナー



- 5月23日 「恐竜たちが眠る山を歩く」（11名）
- 7月25日 「夏休み化石教室」（221名）
- 7月31日～8月1日 ミュージアムキャンプ（35名）
- 9月23日 ミュージアムトーク（講演会）（87名）

10月からは「地域子ども教室」として実行委員会主催で行事をおこないました。

企画展記念講演会

「海の竜たち： 恐竜時代の海を支配した爬虫類」

講師として、早稲田大学の平山廉先生をお招きし、恐竜時代の海で栄えたは虫類についてお話しをしていただきました。参加者の関心はとても高く、講演後の質問の時間が不足するほどでした。講演会が終わってもしばらくの間、質問するために子どもたちが先生を取り囲んでいました。



お知らせ①

御船町恐竜博物館 e会員 募集中！

御船町恐竜博物館では、行事案内や最新ニュースを電子メールで受け取ることができる、e会員を募集しております。入会金、会費等は無料で、申込方法はとても簡単。下記アドレスまで、「e会員希望」と書いたメールをお送りください。結構です。
(email) info@mifunemuseum.jp

楽しい行事や
話題いっぱい！！

御船町恐竜博物館 地域子ども教室推進事業

文部科学省が推進する子どもの居場所づくり新プランの一環として、全国の科学系博物館等における地域子ども教室推進事業が実施されています。当館もこの取組に参加し、「地域子ども教室推進事業」を実施しました。土・日曜日を中心に子どもたちが楽しく学べる教



室を企画し、その運営には博物館の職員・実行委員会の委員・コーディネーター・大学生等の指導員があたりました。室内だけではなく、野外活動も実施しました。今後も博物館が子どもたちにとって安全で居心地の良い魅力ある居場所であるように地域のみなさんと力を合わせていきたいものです。



博物館で体験研修実習

熊本市立出水南中学校2年生のナイス・トライ



10月12日から15日までの4日間、熊本市立出水南中学校の2年生3名が当館で職場体験学習をおこないました。大変礼儀正しく真面目な生徒さんたちで、博物館のいろいろな仕事に一生懸命取り組む姿が印象的でした。初日はいろいろと戸惑うこともあったようですが、一度教わったことはすぐに理解し、団体の小学生に恐竜の話をしたり、恐竜おりがみのつくりかたを教えたり、積極的に活動しました。彼らの仕事ぶりに職員も多く多くの刺激を受けました。

博物館実習



9月21日から7日間、熊本大学理学部地球科学科の藤本ゆかりさんが博物館実習に訪りました。大学で専門に勉強している断層の活動によってできる「マイロナイト」という岩石を中心に、断層や岩石に関する展示の作製に取り組みました。断層は地震と関連して多くの人が興味を示すテーマで、とくに大人に人気があったようです。

修学旅行 鹿児島県・野神小学校



11月25日、鹿児島県有明町の野神小学校の6年生のみなさんが修学旅行で御船町を訪れました。博物館の見学後、アンモナイト化石の断面標本づくりをしてアンモナイトの殻のつくりについて学習しました。午後から化石ひろばに移動して、約9000万年前の化石を採集しました。修学旅行の思い出はおとなになっても心に残っているものです。今回、野神小学校のみなさんは、この貴重な1日を御船町で過ごしてくださいました。修学旅行は一生心に残る特別な思い出。そこに係わる人、施設、地域の役割も重要です。

全国農業青年交換大会～博物館へようこそ！

8月28日、益城町のグランメッセをメイン会場として開催された全国農業青年交換会、その最終日、上益城地区現地交流会が実施され、69名の方が恐竜博物館の見学と化石のレプリカづくりをおこないました。

小学校教員の社会体験研修

7月28日より益城中央小学校の本田博文先生と津森小学校の川口久雄先生が博物館の業務を体験されました。これからの博物館にとって学校の先生方との連携は必要不可欠です。このような研修は先生方との交流を深めるためにたいへんよい機会です。

お知らせ②

メールやFAXでもOK!

「ダイナソートピックス」に記事を投稿してください！

「ダイナソートピックス」編集室では、博物館に対する提言、話題提供、研究ノート、記事など広く募集しております。多数のご投稿お待ちしております。